Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

Canada • G1 Knowledge Test, G1 Written Test

Ontario

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
55	6	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 55 knowledge points • 6 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01 Chapter 1: Getting Your Driver’ s Licence 1

02 Chapter 2: Safe and Responsible Driving 4

03 Chapter 6: Ontario G1 testing trends 7

04 Chapter 3: Traffic Signs and Lights 9

05 Chapter 4: Keeping Your Driver’ s Licence 13

06 Chapter 5: Your Vehicle 18

CHAPTER 1

Chapter 1: Getting Your Driver’ s Licence

1.1 オンタリオ州での運転における基本要件

オンタリオ州で合法的に自動車を運転するためには、すべてのドライバーが特定の年齢および免許の基準を満たす必要があります。居住者は16歳以上であり、有効なオンタリオ州の運転免許証を所持していなければなりません。最近オンタリオ州に引っ越してきた場合、以前の管轄区域の運転免許証を60日間使用することが許可されており、その後はオンタリオ州の免許証を取得する必要があります。オンタリオ州への訪問者も16歳以上であり、自国、州、または準州の有効な免許証を所持している必要があります。

- ✓ オンタリオ州で運転できる最低年齢は16歳です。
- ✓ 新規居住者は60日以内にオンタリオ州の運転免許証を取得しなければなりません。
- ✓ 3ヶ月を超えて滞在する訪問者は、国際運転免許証を所持している必要があります。
- ✓ オンタリオ州の運転免許証とオンタリオ州フォトカードを同時に保持することはできません。

1.2 オンタリオ州段階的免許制度の概要

自動車またはオートバイの免許を取得しようとする新規ドライバーは、オンタリオ州の段階的免許制度を経る必要があります。これは、技能と経験を段階的に積むのを助けるために設計された2段階のプロセスです。プロセスは、視力検査と知識テストに合格した後、レベル1（G1）から始まります。最低期間が経過し、路上試験に合格すると、ドライバーはレベル2（G2）に進みます。完全なG免許を取得するには、最終的な路上試験が必要です。全過程を修了するには最低20ヶ月かかります。

- ✓ 段階的免許プロセスを開始するには、16歳であり、視力検査と知識テストに合格する必要があります。
- ✓ この制度は、完全なG免許を取得する前に、G1とG2の2つのレベルで構成されています。
- ✓ 段階的免許プロセスを完了するための最短期間は20ヶ月です。
- ✓ 承認されたドライバー教育コースを受講すると、レベル1（G1）の期間を12ヶ月から8ヶ月に短縮できます。

1.3 G1ライセンス保持者の運転制限

レベルワン（G1）のドライバーは、学習中の安全を確保するために、いくつかの厳しい条件に従う必要があります。G1ドライバーは、常に資格のある運転者が同乗し、血中アルコール濃度をゼロに保ち、深夜や主要な高速道路での運転を避けなければなりません。これらの規則は厳格に施行されます。

- ✓ 飲酒した場合は運転してはいけません。血中アルコール濃度はゼロでなければなりません。
- ✓ 最低4年間の運転経験を持つ正規の運転免許保持者が同乗し、その同乗者は助手席に座らなければなりません。
- ✓ 400番台のハイウェイやその他指定された高速道路での運転は許可されていません。
- ✓ 深夜0時から午前5時までの間は運転してはいけません。
- ✓ 同乗するドライバーの血中アルコール濃度は0.05%未満でなければなりません。

1.4 G2ライセンス保持者の運転制限

レベル2（G2）のドライバーはより多くの権限を持ちますが、特にアルコール、そして若いドライバーにとっては深夜の同乗者に関して、依然として重要な制限が課せられます。すべてのG2ドライバーは、血中アルコール濃度をゼロに保たなければなりません。19歳以下のドライバーは、深夜0時から午前5時までの間に同乗させることができる若い同乗者の数に制限があります。

- ✓ 運転中は、血中アルコール濃度を常にゼロに保たなければなりません。
- ✓ 19歳以下のG2ドライバーの場合、最初の6か月間は、深夜0時から午前5時までの間に19歳以下の同乗者を1人のみ乗せることができます。
- ✓ 19歳以下のG2ドライバーの場合、6か月経過後は、深夜0時から午前5時までの間に19歳以下の同乗者を最大3人まで乗せることができます。
- ✓ 19歳以下のG2ドライバーに対する深夜の同乗者制限は、正規の運転免許保持者が助手席に同乗している場合、または同乗者が直系の家族である場合には適用されません。

1.5 全ての若年運転者のための血中アルコール濃度ゼロ規則

オンタリオ州では、21歳以下の全ての運転者に対し、アルコールに関する厳格なゼロ・トレランス（不寛容）方針を定めています。この規則は運転免許の種類に関わらず適用され、この年齢層の正規Gライセンス所持者であっても、車両を運転する際の血中アルコール濃度はゼロでなければならないことを意味します。

- ✓ あなたが21歳以下の運転者である場合、血中アルコール濃度はゼロでなければなりません。
- ✓ この法律は、G1、G2、および正規Gライセンスを含む全ての免許種類に適用されます。

1.6 Gクラス免許で運転できる車両

Gクラス免許は、乗用車、バン、小型トラックの標準的な免許です。また、特定の重量制限のもとで、トレーラーや他の車両を牽引することも許可されています。これらの制限を理解することは、連結車両を合法的かつ安全に操作するために不可欠です。

- ✓ Gクラス免許では、あらゆる乗用車、バン、小型トラックを運転できます。
- ✓ 最大4,600キログラムまでの車両またはトレーラーを牽引できます。
- ✓ 自車と牽引車両の合計総重量は、11,000キログラムを超えてはなりません。

CHAPTER 2

Chapter 2: Safe and Responsible Driving

2.1 防衛運転：視界、空間、コミュニケーション

防衛運転または戦略的運転とは、危険な状況を予測し、それを防ぐために効果的に対応することです。これは3つの重要な考えに基づいています：視界（見ることと見られること）、空間（車両の周りに十分なスペースを維持すること）、そしてコミュニケーション（合図、アイコンタクト、クラクションを使って他者に自分の意図を知らせること）。

- ✓ 前方および側方の道路をスキャンし、5秒ごと程度にミラーを確認してください。
- ✓ 車両の前後左右に安全な空間を維持してください。
- ✓ 減速、停止、方向転換、または車線変更を意図する際は、他の道路利用者に伝えるために必ず合図を出してください。

2.2 車両の死角の理解と確認

死角とは、ミラーでは見ることができない車両周辺のエリアのことです。これらの死角を最小限に抑えるためにミラーを調整し、方向転換や車線変更の前には必ず頭を回して肩越しに目視確認することが非常に重要です。これが、そのスペースが空いていることを確認する唯一の方法です。

- ✓ サイドミラーは、死角を減らすために自分の車の後部がわずかに見える程度に調整してください。
- ✓ 頭を回して肩越しに目視確認することが、死角に何もないことを確かめる唯一の方法です。
- ✓ 他の車両、特に大型車には大きな死角があることを認識し、その中を走行することは避けるべきです。

2.3 シートベルトの法律、罰則、および適切な使用法

オンタリオ州では、運転手とすべての同乗者がシートベルトを着用することが義務付けられています。運転手は、16歳未満の同乗者が適切に固定されていることを確認する責任があります。これに従わない場合、罰金と違反点数が科せられます。シートベルトは、ラップベルトを腰の低い位置に、ショルダーストラップを肩にかけるように正しく着用する必要があります。

- ✓ 運転手はシートベルトを着用していない場合、罰金を科され、違反点数2点が加算されることがあります。
- ✓ 運転手は、16歳未満のすべての同乗者がシートベルト、チャイルドシート、またはブースターシートで適切に固定されていることを確認する責任があります。
- ✓ 初心者ドライバー (Novice driver) は、すべての同乗者のために機能するシートベルトを用意しなければならず、さもなければ少なくとも30日間免許を失う可能性があります。

2.4 チャイルドシートおよびブースターシートの要件

オンタリオ州の法律では、子どもが特定の年齢、体重、または身長の要件を満たすまで、適切なチャイルドシートまたはブースターシートに固定することが義務付けられています。運転手は、16歳未満の子どもが正しく固定されていることを確認する責任があります。段階は、乳児用の後ろ向きシート、幼児用の前向きシート、そして年少児用のブースターシートへと進みます。

- ✓ 体重9kg（20ポンド）未満の乳児は、後ろ向きのチャイルドシートに乗せなければなりません。
- ✓ 子どもは、8歳になるか、体重が36kg（80ポンド）になるか、身長が145cm（4フィート9インチ）になるまで、ブースターシートを使用しなければなりません。
- ✓ 作動中のエアバッグがある助手席には、後ろ向きのチャイルドシートを絶対に取り付けないでください。

2.5 車両ヘッドライトの使用規則

ヘッドライトは夜間や視界が悪い状況で必要です。他のドライバーの目をくらませることなく適切に視界を確保するため、ハイビームとロービームの使用には特定の規則があります。デイタイムランニングライトは、悪条件下ではテールランプを点灯させない可能性があるため、ヘッドライトの代わりにはなりません。

- ✓ 日没の30分前から日の出の30分後まで、および150メートル先がはっきりと見えないその他の時間帯には、ヘッドライトを使用しなければなりません。
- ✓ 対向車から150メートル以内に近づいた場合は、ハイビームからロービームに切り替えなければなりません。
- ✓ 他の車両の後方60メートル以内を走行している場合は、ロービームを使用しなければなりません。

2.6 安全で責任ある運転の原則

安全運転とは、知識、技能、そして心構えの組み合わせです。交通法規を理解し遵守することが求められます。法規違反は衝突事故の主な原因です。ドライバーは予測可能な運転を心がけ、車間距離を保ち合図を出すことで他の道路利用者に配慮し、たとえ他の道路利用者が過ちを犯した場合でも、衝突を避ける責任を負わなければなりません。

- ✓ たとえ他の誰かが間違いを犯したとしても、衝突を避ける責任はあなたにあります。
- ✓ 道路上では、他の道路利用者が予測する通りの行動をとり、予測可能でなければなりません。
- ✓ 交通法規の違反は衝突事故の主な原因であり、罰金、禁固刑、または免許停止につながる可能性があります。

2.7 運転者の適性と運転準備

運転する前は、身体的にも精神的にも注意力が高い状態でなければなりません。病気、疲労、処方薬や市販薬、ストレス、怒りのような強い感情などの要因によって、運転能力は悪影響を受ける可能性があります。自身の運転適性を評価し、能力が低下している状態での運転を控えることは、あなたの責任です。

- ✓ 疲れているときは運転しないでください。疲労は思考力と反応時間を低下させます。
- ✓ 動揺したり怒ったりしているときは運転しないでください。強い感情は、迅速に考え、反応する能力を低下させる可能性があります。
- ✓ 運転能力を低下させる可能性のある薬物や医薬品を服用している場合は、自動車を運転してはなりません。

2.8 正しい着座位置と車両の調整

シート、ミラー、ヘッドレストを適切に調整することは、安全性とコントロールのために非常に重要です。車両前方4メートルの地面が見える高さに座り、肘は軽く曲げ、足がペダルに楽に届くようにしてください。ヘッドレストは、その中央が後頭部の真後ろに来るように位置を合わせる必要があります。

- ✓ ハンドルとボンネットの上から前方が見え、足がペダルに楽に届くようにシートを調整してください。
- ✓ 衝突時に身を守るため、後頭部がヘッドレストの中央の真ん前にくるようにしてください。
- ✓ どの方向の視界も遮るような障害物やコーティングがないように、窓をきれいに保ってください。

CHAPTER 3

Chapter 6: Ontario G1 testing trends

3.1 Vulnerable Road Users (Top Priority)

Ontario has significantly increased the focus on protecting non-motorists. These are now "must-know" topics for the G1 exam.

- ✓ The One-Metre Rule: Drivers must maintain a minimum distance of one metre when passing a cyclist. You should include questions about the fines and demerit points for failing to do so.
- ✓ Pedestrian Crossovers (PXO): Distinguish these from regular crosswalks. At a PXO (marked by overhead lights/signs), drivers must wait until pedestrians have completely crossed the entire width of the road before proceeding.
- ✓ Bike Lanes: Rules for crossing bike lanes to make right turns and checking blind spots for "right-hook" collisions.

3.2 Distracted Driving (Modernized Laws)

The laws have evolved beyond just "texting while driving."

- ✓ Red Light Stoppage: It is illegal to hold or use a phone even while stopped at a red light or stuck in traffic.
- ✓ Novice Driver Penalties: For G1/G2 drivers, a first conviction for distracted driving results in a 30-day license suspension, rather than just a fine. This is a high-conversion "fear factor" topic for your App.
- ✓ Infotainment Screens: Rules regarding adjusting GPS or vehicle screens while the vehicle is in motion.

3.3 Cannabis and "Zero Tolerance"

This is a major safety focus in Ontario.

- ✓ Tow Trucks and Service Vehicles: The law now includes tow trucks with flashing amber lights and public utility vehicles. If a driver sees these stopped on the side of a multi-lane highway, they must change lanes if it is safe to do so.
- ✓ Fines for Non-Compliance: Penalties for failing to move over for an emergency vehicle are very high ($400 to $2,000 for a first offense).

3.4 Specific Ontario Road Scenarios

- ✓ Roundabouts: As Ontario installs more roundabouts, questions regarding signaling (signal "right" when exiting) and right-of-way (yielding to traffic already in the circle) are becoming standard.
- ✓ High-Occupancy Vehicle (HOV) Lanes: Rules for who can use HOV lanes on 400-series highways (e.g., minimum 2 people, green plates) and the meaning of the diamond symbol.
- ✓ School Bus "Physical Median": A classic trap question. If there is a physical median (e.g., a raised concrete barrier), oncoming traffic does NOT have to stop for a school bus with flashing lights. If there is no barrier (even on a 5-lane road), everyone must stop.

3.5 Extreme Weather (Winter Driving)

- ✓ Black Ice: How to identify it (it looks like a wet road) and how to react if the vehicle starts to skid.
- ✓ Lights in Visibility: Legal requirement to turn on full headlights (not just DRLs) when visibility is reduced to 150m due to fog, rain, or snow.

3.6 Move Over Law (Emergency & Service Vehicles)

This is a major safety focus in Ontario.

- ✓ Tow Trucks and Service Vehicles: The law now includes tow trucks with flashing amber lights and public utility vehicles. If a driver sees these stopped on the side of a multi-lane highway, they must change lanes if it is safe to do so.
- ✓ Fines for Non-Compliance: Penalties for failing to move over for an emergency vehicle are very high ($400 to $2,000 for a first offense).

CHAPTER 4

Chapter 3: Traffic Signs and Lights

4.1 形と色で主要な交通標識を識別する

特定の交通標識は、素早く識別できるように独特の形をしています。一時停止標識は八角形、譲れ（Yield）の標識は逆三角形、スクールゾーンの標識は五角形、踏切ありの標識は「X」形です。これらの形を遠くから認識することで、必要な行動に備えることができます。

- ✓ 赤色の八角形の一時停止標識は、停止線、横断歩道、または交差点の端の手前で完全に停止しなければならないことを意味します。
- ✓ 五角形の蛍光黄緑色のスクールゾーン標識は、速度を落とし、子供に注意するよう警告します。
- ✓ 白い背景に赤い縁取りの逆三角形の譲れ（Yield）の標識は、必要に応じて減速または停止し、交差点内またはその付近の交通を優先させる必要があります。
- ✓ X形の踏切ありの標識は、前方の道路を線路が横切っていることを警告します。速度を落とし、両方向から列車が来ていないか確認し、停止する準備をしなければなりません。

4.2 規制標識の理解と遵守

規制標識は、法律によって従わなければならない指示を示します。通常、白または黒の背景を持つ長方形または正方形です。標識の緑色の円は許可または義務的な行動を示し、線が引かれた赤色の円は行動を禁止します。

- ✓ 緑色の円がある標識は、実行できる、または実行しなければならない活動を示します。
- ✓ 記号の上に斜線が引かれた赤色の円がある標識は、示された活動が許可されていないことを意味します。
- ✓ 速度制限標識や「進入禁止」標識などの規制標識は、法的に強制力のある命令です。

4.3 スクールゾーンとスクールバスに関する規則の遵守

子供たちを保護するため、スクールゾーン内やスクールバスに遭遇した際には特別な規則が適用されます。標識は通学時間中の制限速度の引き下げを示し、運転手はライトを点滅させているスクールバスのために停止しなければなりません。

- ✓ スクールゾーンの標識が低い制限速度を示し、黄色のライトが点滅している場合、ライトが作動している間はその制限に従わなければなりません。
- ✓ スクールバスの上部の赤色灯が点滅している場合は、中央分離帯のある高速道路を走行している場合を除き、進行方向に関係なく停止しなければなりません。
- ✓ 「スクールバス乗降ゾーン」（'School Bus Loading Zone'）の標識は、バスが点滅灯やストップアームを使用せずに乗降できるエリアを示します。注意して運転してください。

4.4 警告標識の認識と対応

警告標識は、カーブ、滑りやすい道路、合流交通など、前方の危険または異常な状況を警告します。通常、黄色の背景に黒い記号が描かれた菱形です。警告標識を見たら、速度を落とし、特に注意して運転する必要があります。

- ✓ 警告標識は、ほとんどの場合、菱形で黄色の背景です。
- ✓ 車の後ろに波線が描かれている標識は、路面が濡れていると滑りやすいことを警告します。
- ✓ 2つの道路が1つに合流することを示す標識は、交通が合流することを警告し、両方の道路の運転者が安全に合流する責任を負います。

4.5 車線および高速道路の移行

警告標識は、車線の減少や中央分離帯のある高速道路の始まりや終わりなど、前方の道路の変化に関する重要な情報を提供します。これらの標識は、車両を正しく位置づけ、他のドライバーの行動を予測するのに役立ちます。

- ✓ 「右側車線減少」の標識は、左側の車線の交通に安全に合流しなければならないことを意味します。
- ✓ 「中央分離帯始まり」の標識は、前方の道路が物理的な中央分離帯で分離されており、右側の道路を通行しなければならないことを示します。
- ✓ 「中央分離帯終わり」の標識は、中央分離帯が終わり、まもなく対向車のある道路に出ることを警告します。

4.6 一時的な工事区域を安全に走行する方法

一時的状況を示す標識は、前方の道路工事、迂回路、または交通整理員の存在を警告します。これらの標識は通常、オレンジ色の背景を持つひし形です。これらの区域では、速度を落とし、急停止に備え、すべての指示に従わなければなりません。

- ✓ 建設または道路工事のための一時的状況を示す標識は、通常オレンジ色でひし形です。
- ✓ 工事区域内では、交通整理員の指示に従わなければなりません。
- ✓ 罰金が2倍になることを示す標識は、作業員がいる場合にその工事区域で速度超過の罰金が増額されることを意味します。

4.7 赤、黄、緑の信号灯の理解

信号機は交差点の交通の流れを制御します。青信号は、前方が安全であれば進んでもよいことを意味し、黄信号は信号が間もなく赤に変わるという警告であり、赤信号は停止しなければならないことを意味します。

- ✓ 赤信号では、停止線、横断歩道、または交差点の端で完全に停止しなければなりません。
- ✓ 黄信号は、安全に停止できる場合は、交差点に進入する前に停止しなければならないことを意味します。
- ✓ 青信号は、直進または右左折してもよいことを意味しますが、すでに交差点内にいる車両や歩行者に道を譲らなければなりません。

4.8 赤信号での右左折

オンタリオ州では、標識で禁止されていない限り、ドライバーは完全に停止し、すべての車両と歩行者に道を譲った後、赤信号で特定の方向へ曲がることができます。

- ✓ 特に禁止する標識がない限り、完全に停止して進路が安全であることを確認した後、赤信号で右折することができます。
- ✓ 赤信号での左折は、一方通行の道路から別の一方通行の道路へ入る場合に限り、完全に停止して道を譲った後に行うことができます。
- ✓ 赤い円の中に右折矢印があり、それに斜線が引かれている標識は、「赤信号のときは右折禁止」を意味します。

4.9 先行緑信号と矢印でのターン

一部の交差点では、対向車よりも先に左折車を通行させるための特別な信号が使われます。これらは先行緑信号と呼ばれ、緑色の点滅信号または緑色の矢印で示されます。

- ✓ 緑色の点滅信号または左向きの緑色の矢印は、対向車が赤信号である間に左折する優先権があることを意味します。
- ✓ 緑色の矢印の後には黄色の矢印が表示され、先行緑信号の期間が終了することを示すため、左折を開始してはいけません。
- ✓ 通常の緑信号でも左折は可能ですが、必ずすべての対向車と歩行者に道を譲った後に行わなければなりません。

4.10 点滅信号や停電への対応

点滅信号や機能していない交通信号には、特定の対応が求められます。赤の点滅信号は一時停止の標識、黄色の点滅信号は徐行または注意の標識、そして消灯している信号は全方向一時停止として扱われます。

- ✓ 赤の点滅信号は一時停止の標識と同じ意味を持ちます。完全に停止し、安全が確認できた場合にのみ進行してください。
- ✓ 黄色の点滅信号は、速度を落とし、注意して交差点を通過すべきことを意味します。
- ✓ 交差点の信号機が作動していない場合は、全方向一時停止として扱い、右側の車両に道を譲らなければなりません。

4.11 「停止禁止」、「駐停車禁止」、「駐車禁止」の区別

規制標識は、車両を一時的に停めることができる場所を定めています。「停止禁止」(No Stopping) が最も厳しく、次に「駐停車禁止」(No Standing)、そして「駐車禁止」(No Parking) の順になります。罰金を避け、交通を円滑にするために、この違いを理解することが重要です。

- ✓ 「停止禁止」(Do not stop) の標識は、いかなる理由であれ、たとえ一瞬でも車両を停止することを禁じます。
- ✓ 「駐停車禁止」(Do not stand) の標識は、乗客を乗せたり降ろしたりしている間のみ、一時的に停止することを許可します。
- ✓ 「駐車禁止」(Do not park) の標識は、乗客や荷物を積み降ろしするために停止することを許可します。

4.12 低速走行車両および長大貨物自動車の識別

他のドライバーに警告するために、車両自体に特定の標識が表示されます。低速走行車両の標識は赤枠のオレンジ色の三角形で、長大貨物自動車（LCV）のプラカードは非常に長いダブルトレーラートラックを示します。

- ✓ 車両後部の赤枠のオレンジ色の三角形は、時速40km以下で走行する「低速走行車両」を示します。
- ✓ 低速走行車両の標識を見たら、減速し、安全な場合にのみ追い越す準備をしなければなりません。
- ✓ LCVのプラカードは、長さが最大40メートルにもなるダブルトレーラーを示し、安全に追い越すためには余分な時間と距離が必要です。

4.13 信号のある横断歩道での歩行者への譲り合い

歩行者用信号は、人が安全に道路を横断できる時を示します。ドライバーはこれらの信号に注意を払い、合法的に横断している歩行者に常に道を譲らなければなりません。

- ✓ 白色の「歩行者」のマークは、歩行者が道路を横断し始めてもよいことを意味します。
- ✓ 点滅または点灯しているオレンジ色の「手のひら」のマークは、歩行者が横断を始めてはならないことを意味します。
- ✓ 青信号に面している場合、方向転換するドライバーは交差点を横断している歩行者に道を譲らなければなりません。

CHAPTER 5

Chapter 4: Keeping Your Driver’ s Licence

5.1 オンタリオ州運転免許証の要件と更新

すべてのドライバーは、運転する際には常に一体型の運転免許証カードを携帯しなければなりません。免許証が有効であることを確認するのはドライバーの責任です。更新通知は郵送されますが、それを受け取らなかったことは言い訳にはなりません。失効した自動車またはオートバイの免許証は、1年以内であれば試験なしで更新できます。免許証が失効してから3年以上経過している場合、ドライバーは再申請し、すべての試験を含む段階的免許取得プロセス全体を再度完了する必要があります。

- ✓ 運転中は、常に運転免許証を携帯しなければなりません。
- ✓ 免許証が失効してから3年以上経過している場合は、免許を再申請し、段階的免許取得のすべての要件を満たす必要があります。
- ✓ 更新通知を郵便で受け取らなかった場合でも、期限内に免許を更新する責任はあなたにあります。

5.2 フルライセンスドライバー向けの違反点数制度

違反点数制度は安全運転を奨励するものです。フルライセンスドライバーの場合、違反点数が15点累積すると30日間の免許停止処分となります。免許停止期間終了後、点数は7点に減点されます。違反点数は違反日から2年間、運転記録に残ります。6点と9点に達した時点で警告書が送付されます。

- ✓ フルライセンスドライバーは、違反点数が15点累積すると30日間の免許停止処分を受けます。
- ✓ 違反点数は、違反日から2年間、運転記録に残ります。
- ✓ 15点の累積による30日間の免許停止後、ドライバーの記録は7点に減点されます。

5.3 初心者ドライバー (G1/G2) のための違反点数制度

初心者ドライバー (G1, G2) は、違反点数制度の下でより厳しい罰則に直面します。9点以上の違反点数が累積すると、60日間の免許停止処分となります。免許停止期間終了後、点数は4点に減点されます。2点および6点に達した時点で警告書が送付されます。また、初心者ドライバーは免許のいずれかの条件に違反した場合、30日間の免許停止処分に直面します。

- ✓ 初心者ドライバー (G1/G2) は、違反点数が9点累積すると60日間の免許停止処分を受けます。
- ✓ 初心者ドライバーの場合、違反点数が2点に達すると警告書が送付されます。
- ✓ 初心者ドライバー免許のいずれかの条件に違反すると、30日間の免許停止処分となります。

5.4 減点点数が高い違反

特定の重大な交通違反には、高い減点点数が科せられます。これらは重大な違反と見なされ、速やかに免許停止につながる可能性があります。どの違反が最も点数が高いかを理解することは、すべてのドライバーにとって非常に重要です。

- ✓ 衝突事故の現場から立ち去った場合、7点の減点となります。
- ✓ スクールバスのために停止しなかった場合、6点の減点となります。
- ✓ 不注意運転とレース行為は、それぞれ6点の減点となります。
- ✓ 制限速度を時速50km以上超過した場合、6点の減点となります。

5.5 一般的な交通違反に対する違反点数

多くの一般的な交通違反は、運転者記録に2点から4点の違反点数が加算される結果となります。これらの点数はすぐに累積し、警告や免許停止につながる可能性があります。

- ✓ 車間距離不保持（あおり運転）は、違反点数4点となります。
- ✓ 一時停止標識、信号機に従わない、または優先権を譲らない場合は、違反点数3点となります。
- ✓ 携帯無線通信装置を手で持って使用しながら運転すると、違反点数3点となります。
- ✓ 運転者がシートベルトを着用していない場合は、違反点数2点となります。

5.6 若年運転者および初心者運転者のための血中アルコール濃度ゼロ規則

オンタリオ州では、特定の運転者に対してアルコールに関するゼロ・トレランス（不寛容）方針を定めています。免許の種類に関わらず、21歳以下のすべての運転者は血中アルコール濃度（BAC）がゼロでなければなりません。また、年齢に関わらず、すべての初心者運転者（G1、G2、M1、M2）もBACがゼロでなければなりません。

- ✓ 21歳以下のすべての運転者は、血中アルコール濃度（BAC）がゼロでなければなりません。
- ✓ 年齢に関わらず、すべての初心者運転者（G1、G2）は、BACがゼロでなければなりません。
- ✓ BACゼロ規則に違反した場合の罰則には、即時の24時間路上免許停止、および有罪判決を受けた場合の罰金と最低30日間の追加免許停止が含まれます。

5.7 アルコールによる即時の路上免許停止

警察は、運転者の血中アルコール濃度（BAC）に基づき、その場で直ちに免許を停止することができます。「警告範囲」であるBAC .05から.08の場合は、即時の免許停止となります。BACが.08を超える場合、またはサンプル提供を拒否した場合は、より長期の行政運転免許停止（ADLS）処分が科されます。

- ✓ BACが「警告範囲」（.05〜.08）で運転した場合、初犯では即時に3日間の免許停止となります。
- ✓ BACが.08を超えて運転した場合、即時に90日間の行政運転免許停止（ADLS）処分が科されます。
- ✓ 警察への呼気、血液、その他の体液サンプルの提供を拒否した場合、即時に90日間のADLS処分が科され、刑事告発されます。

5.8 刑法における能力障害運転（インペアード・ドライビング）の罰則

アルコールや薬物の影響下で運転することは、カナダでは刑法犯罪です。有罪判決を受けると、免許の義務的な停止、罰金、および禁固刑の可能性を含む厳しい罰則が科されます。刑法に基づき、能力障害運転で初めて有罪判決を受けると、1年間の免許停止処分となります。

- ✓ 刑法に基づき、能力障害運転で初めて有罪判決を受けると、1年間の免許停止処分となります。
- ✓ 車両が動いていなくても、運転席にいて車両を管理または制御している限り、能力障害運転で起訴される可能性があります。
- ✓ 警察官による呼気または体液サンプルの要求を拒否することは、能力障害運転と同様の罰則が科される刑法犯罪です。

5.9 免許証の名前または住所の更新

名前や住所に変更があった場合、オンタリオ州運輸省（MTO）に通知することが法的に義務付けられています。この通知は変更後6日以内に行わなければなりません。住所変更はオンライン、郵送、または直接窓口で行うことができます。名前の変更には、必要書類を持参の上、サービスオンタリオ・センター（ServiceOntario Centre）へ直接訪れる必要があります。これらの更新に手数料はかかりません。

- ✓ 名前または住所の変更があった場合は、6日以内にオンタリオ州運輸省に通知しなければなりません。
- ✓ 名前の変更はサービスオンタリオ・センターへ直接訪れる必要があり、住所変更はオンラインまたは郵送で行うことができます。

5.10 車両押収プログラム

特定の状況下では、所有者に関係なく、運転している車両が路上で押収されることがあります。所有者は、すべての牽引および保管料金を支払う責任があります。このプログラムは、飲酒運転や免許停止中の運転など、リスクの高い運転行動を対象としています。

- ✓ 血中アルコール濃度（BAC）が0.08を超えた状態で運転しているところを現行犯で逮捕された場合、または警察による呼気・体液サンプルの要求を拒否した場合、運転していた車両は7日間押収されます。
- ✓ 刑法違反により免許が停止されている間に運転しているところを現行犯で逮捕された場合、車両は最低45日間押収されます。
- ✓ 運転していなかった場合でも、車両の所有者がすべての牽引および保管費用を負担する責任があります。

5.11 免許停止中に運転した場合の罰則

免許が停止されているいかなる状況下でも、運転することは違法です。発覚した場合の罰則は厳しく、高額な罰金、懲役、免許停止期間のさらなる延長が含まれる可能性があります。

- ✓ オンタリオ州道路交通法（Highway Traffic Act）違反により免許が停止されている間に運転し、有罪判決を受けた場合、追加で6ヶ月の免許停止処分が科せられます。
- ✓ 免許停止中の運転に対する罰則には、数千ドルの罰金や最大6ヶ月の懲役が含まれる可能性があります。
- ✓ 免許停止中に運転しているところを摘発された場合、運転していた車両は7日間（道路交通法による停止）または最低45日間（刑法による停止）押収されることがあります。

5.12 スタント運転とレース行為に対する罰則

オンタリオ州では、公道レースやスタント運転を含む攻撃的な運転行動に対して厳しい法律があります。これらは、制限速度を時速50km以上（制限速度が時速80km未満の道路では時速40km以上）超えて運転する、意図的に他の車両の前に割り込む、またはスタントを行うなどの行為によって定義されます。

- ✓ 掲示された制限速度を時速50km以上超えて運転することはスタント運転と見なされ、厳しい罰則が科せられます。
- ✓ 公道レースや意図的に他の車両の前に割り込むことは、即時の制裁につながる可能性のある攻撃的な運転の一形態と見なされます。
- ✓ 不注意運転で有罪判決を受けると、違反点数6点、罰金、そして免許停止の可能性があります。

5.13 高齢ドライバーの免許更新要件

交通安全を確保するため、80歳以上のドライバーは2年ごとに特定の更新手続きに従う必要があります。この手続きには、運転記録の確認、視力検査、およびグループでの教育セッションが含まれます。査定に基づき、路上試験が要求される場合もあります。

- ✓ 80歳以上のドライバーは、2年ごとに運転免許を更新する必要があります。
- ✓ 高齢ドライバーの更新手続きには、視力検査、運転記録の確認、および45分間のグループ教育セッションが含まれます。
- ✓ 80歳以上のドライバーが免許を更新する際には、路上試験が要求される場合があります。

CHAPTER 6

Chapter 5: Your Vehicle

6.1 車両のメンテナンスと安全点検

ドライバーとして、あなたは自分の車が安全に運転できる状態であることを保証する責任があります。安全でない車両を運転することは違法です。運転前および運転中の定期的な点検により、潜在的な問題を特定できます。警察官または運輸省の検査官はいつでもあなたの車両を検査することができ、安全でないと判断された場合は、その車両を道路から排除することがあります。

- ✓ 危険な状態の車両を運転することは違法です。
- ✓ 運転する前に、視界が遮られていないことを確認し、窓、ライト、ナンバープレートから雪、氷、汚れを取り除かなければなりません。
- ✓ 運転中は、ブレーキのきしみ音やエンジン音などの異音、およびダッシュボードの警告灯に注意を払う必要があります。

6.2 タイヤの安全基準と交換規則

タイヤは駆動力と安全性にとって非常に重要です。タイヤは、溝の深さと状態に関する法的基準を満たさなければなりません。タイヤは経年劣化するため、溝の摩耗に関わらず10年以上経過したものは交換する必要があります。特に冬場に適切な種類のタイヤを使用すると、車両のコントロール性が向上します。

- ✓ タイヤの溝の深さが1.5ミリメートル未満になった場合は交換しなければなりません。
- ✓ 4,500kgを超える車両の場合、前輪タイヤは溝の深さが3ミリメートル未満になったら交換しなければなりません。
- ✓ 10年以上経過したタイヤは劣化のため交換する必要があります。
- ✓ 隆起、膨らみ、こぶ、またはコードが露出しているタイヤは交換しなければなりません。

6.3 オンタリオ州の車両登録とナンバープレート

オンタリオ州のすべての自動車は、有効なナンバープレートと車両許可証を含め、登録されなければなりません。オンタリオ州では「プレート・トゥ・オーナー」制度を採用しており、ナンバープレートは車両ではなく所有者に帰属することを意味します。新規居住者が州内で車両を登録するには、限られた期間しかありません。

- ✓ 車両を売却する際は、ご自身のナンバープレートを取り外さなければなりません。ナンバープレートは車両に付属しません。
- ✓ オンタリオ州への新規居住者は、30日以内に車両を登録する必要があります。
- ✓ 車両を運転する際は、車両許可証（またはその真正なコピー）を携帯しなければなりません。

6.4 オンタリオ州における自動車強制保険

オンタリオ州では、有効な自動車保険なしで自動車を運転することは違法です。車両の登録または登録更新には、保険の証明書が必要です。警察官から要求された場合は、保険の証明書を提示できなければなりません。

- ✓ オンタリオ州で登録され、運転されるすべての車両は、自動車強制保険に加入していなければなりません。
- ✓ 車両の登録または登録更新の際には、保険の証明書を提示する必要があります。

6.5 冬季の車両準備と安全

冬に向けて車両を準備することは、安全のために非常に重要です。これには、寒い天候でもエンジンがかかるよう整備された車両を維持し、緊急キットを携帯することが含まれます。故障した排気システムは、ドライバーが窓を閉めがちな冬には特に危険です。これにより、車内に致死性の一酸化炭素ガスが蓄積する可能性があります。

- ✓ 冬季の緊急キットには、シャベル、ブースターケーブル、毛布、警告灯や発煙筒などのアイテムを含めるべきです。
- ✓ 視界を確保するため、冬季は常に予備のウォッシャー液を携帯してください。
- ✓ 排気システムから異音やガタガタという音がする場合は、必ず点検を受けてください。冬には重大な一酸化炭素中毒のリスクとなります。

6.6 トレーラー牽引の免許と登録

オンタリオ州でトレーラーを牽引するには、有効な運転免許証（G、G2、またはG1）が必要です。トレーラーは独立した車両と見なされ、ServiceOntarioへの登録が必要です。これには、トレーラー自体のナンバープレートと許可証の取得が含まれます。非商用車で一度に複数のトレーラーを牽引することは違法です。

- ✓ G、G2、またはG1クラスの免許では、車両総重量が4,600キログラムまでのトレーラーを牽引できます。
- ✓ トレーラーは独立した車両と見なされ、登録して独自のナンバープレートと許可証を取得する必要があります。
- ✓ 非商用車が一度に複数のトレーラーを牽引することは法律で禁じられています。

6.7 トレーラーの装備に関する安全要件

オンタリオ州の道路で合法的に走行するためには、トレーラーに特定の安全装置を装備する必要があります。これには、重量のあるトレーラー用のブレーキ、適切な照明、安全な連結システムが含まれます。トレーラーが運転者の後方視界を妨げる場合は、牽引車両に追加のミラーが必要です。

- ✓ 総重量が1,360キログラム以上のトレーラーには、独自のブレーキが必要です。
- ✓ トレーラーには、ヒッチと交差させた安全チェーンなど、牽引車両に接続するための2つの独立した手段が必要です。
- ✓ 牽引中のトレーラーに人を乗せることは違法です。
- ✓ トレーラーの幅が2.05メートルを超える場合、前方には黄色、後方には赤色の車幅灯（クリアランスライト）が必要です。

6.8 トレーラーの安全な積載と重量配分

トレーラーの積載方法は、その安定性と牽引車両の安全性に大きく影響します。荷物の揺れや制御不能を防ぐため、荷物は固定し、重量を正しく配分する必要があります。一般的に、トレーラーの車軸より前方に多くの重量を配置する必要があります。

- ✓ トレーラーの荷物は、ずれたり落下したりしないように、ストラップでしっかりと固定する必要があります。
- ✓ 総重量の約5〜10%がヒッチにかかるように、トレーラーの車軸より前方に多くの重量を置いて荷物を配分してください。
- ✓ 不適切にバランスが取られた荷物、特に後部に重量が偏っている場合、トレーラーが揺れたり「フィッシュテール」現象を起こしたりする原因となります。

6.9 トレーラー牽引時の運転技術

トレーラーを牽引すると、車両のハンドリング、加速、ブレーキ特性が変化します。運転者は、追従距離を長く取り、方向転換や車線変更のためにより多くのスペースを確保し、大型トラックからの風などの環境要因に注意を払うことで、技術を調整する必要があります。

- ✓ 牽引時は、停止時間が長くなることを見越して、追従距離を長く取る必要があります。
- ✓ 方向転換の際は、トレーラーの車輪が縁石に当たったり、他の車線にはみ出したりするのを防ぐために、より大きく曲がる必要があります。
- ✓ トレーラーを後退させる際は、トレーラーの後部を動かしたい方向とは反対の方向に車両のハンドルを切ります。